

屋外暴露20年報告書(一般環境)

【試験目的】

屋外暴露によるROVAL、溶融亜鉛めっき(HDZ55)のさび止め能力を検証する。

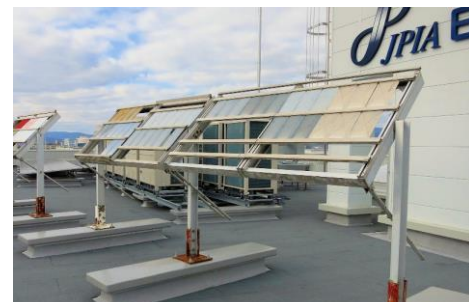
【試験期間】

2002年7月15日～2022年7月15日

【試験方法】

JIS Z 2381(2001)大気暴露試験方法通則に準ずる。

試験条件: 直接暴露及び南面30度



(参考)暴露場写真

【試験片】

名称	寸法(縦×横×高さ)	使用鋼板
ROVAL (膜厚: 80μm)	300*150*1.6	JIS G 3101 (SS-400)
溶融亜鉛めっき (JIS H 8641 HDZ55)	300*150*3.2	JIS G 3101 (SS-400)

【試験場所】

(一財)日本塗料検査協会 西支部

【評価方法】

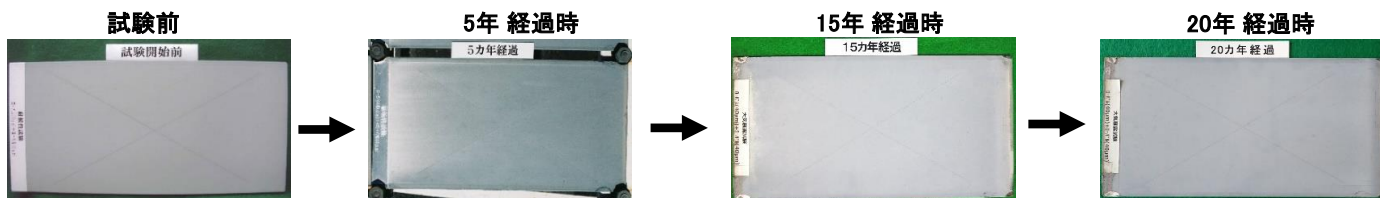
目視による外観評価

【試験結果】

大気暴露試験20年経過後の試験結果

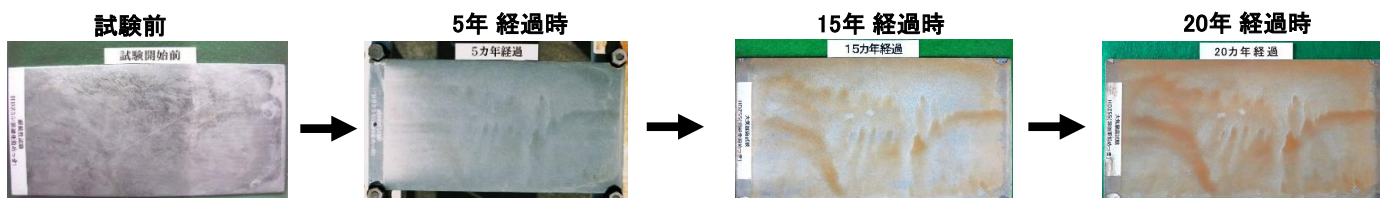
ROVAL (膜厚: 80μm)


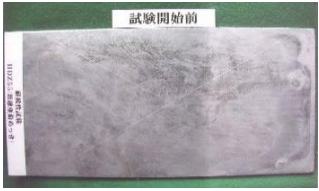
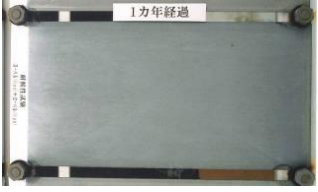
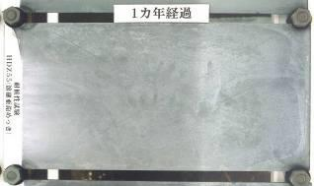
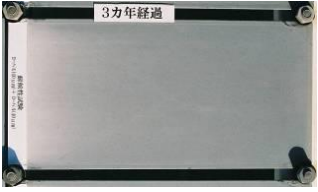
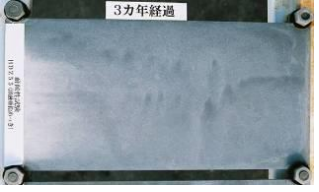








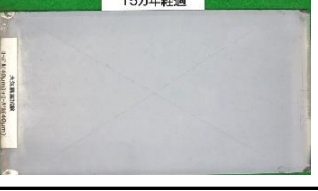
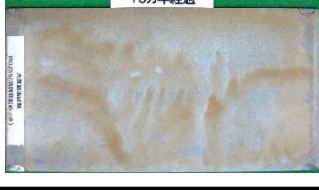


塗膜色の変化は見られるが、さびの発生は皆無であった。



溶融亜鉛めっき(HDZ55)

やけ部にさびが発生した。亜鉛鉄合金層の鉄成分が酸化しさびとなっていると思われる。ただし、さび発生はやけ部表層のみであり、軽度であると推測される。



	ROVAL	溶融亜鉛めっき (HDZ55)
暴露前		
1年経過時		
3年経過時		
5年経過時		
7年経過時		
9年経過時		
11年経過時		
15年経過時		
20年経過時		

*撮影日が異なるため、写真の明るさ等に違いが出ています。